

□ 要請番号 (JL06618B13)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
スリランカ	H114 理学療法士		個別	交替 3代目	2年	・ 2019/2 ・ 2019/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

社会福祉・第一次産業省

2) 配属機関名 (日本語)

社会福祉局(ポロンナルワ県事務局)

3) 任地 (ポロンナルワ県ポロンナルワ) JICA事務所の所在地 (コロンボ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 6.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

社会福祉省は障害者、高齢者、路上生活者、寡婦などの社会的弱者を対象に各種支援プログラムを推進している。同省にあるCommunity Based Rehabilitation (CBR)の国家戦略推進を担当する部局(CBRユニット)では、特に障害者の社会参加を目指し、各地域にCBR運営委員会の設置を推進し、啓発活動やトレーニングなどを進めている。JICAは2006年より選定した地域において複数名の協力隊員を派遣し、同プログラムの推進に協力している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国ではリハビリテーション人材がまだまだ不足しており、農村部においては特に社会福祉分野のリハビリサービスが行き届いていない現状がある。社会福祉省はCBRプログラムを実施しており、JICAは、スリランカ国内の他の地域にも複数名、ボランティアを派遣し、障害者の社会参加推進に向けた支援を行っている。現場では、スリランカ人の理学療法士もいるが、リハビリに係る知識、経験は乏しいため、専門(医療)的観点からの助言や指導がJICAボランティアに期待されている。住民レベルにおいても、障害者や、その家族からのニーズが高く、リハビリについての知識を学ぼうという高い意識が感じられる。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

CBRが実施されている地域を巡回し、理学療法士の立場から以下の指導を行うことが期待されている。

1. 身体障害者(脳性麻痺、中枢神経疾患、整形疾患など)の家庭を巡回し、日常生活活動(ADL)の自立、生活の質(QOL)の向上、社会参加を目指して理学療法指導を、当事者及びその家族に対して行う。
2. 障害者とその家族に対し、障害理解を促進するセミナーなどを実施する。
3. ニーズに応じて、CBR以外の協力隊員が派遣されている機関(高齢者、早期療育)にて助言を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務机、椅子等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先上長:県次官補、女性、30代、大卒

カウンターパート:中央政府・社会福祉担当、女性・40代・大卒・経験年数15年

障害当事者団体:代表、男性、30代

活動対象者:障害児・者

5) 活動使用言語

シンハラ語

6) 生活使用言語

シンハラ語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(理学療法士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：() 備考：

任地での乗物利用の必要性

自転車

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(19～32℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

住居はホームステイ、またはアネックス(大家族と同一敷地内にある離れ、あるいは2階建ての2階部分など)になる可能性が高い。